

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.17



おめでとうござります!!



「今日は何を食へようかな?」と待ち遠しいランチ。そんなランチで健康と社会貢献をテーマに食堂で実現しようとしているのが私の職場です。過去に同じような試みをしていましたが、反響もいま一歩で廃止してしまい、再度挑戦します!

現在は健康茶の販売を行い、その一部を寄付するという取り組みを実施中です。具体的な販売方法はコップ1杯、マイタンブラー、リサイクルボトルの3種類。お手軽でかつランチという毎日のルーティンワークに取り入れることが可能です。

健康づくりには運動や食事制限など様々な方法がありますが、人それぞれ得意不得意があるのも懸念点です。ただこの取り組み



皆さんは道路工事現場やイベント会場などで、ヘルメットや制帽などを着用している警備員を見かけたことはありませんか?

コスモ警備では事件や事故を未然に防止し、「地域の安全・人の安全」を守る仕事を行っています。創業以来30余年、地域社会に貢献できるよう、全社員一丸となって日々の業務に取り組んでいます。

朝夕の通学路で交わされるあいさつと笑顔。子どもたちを犯罪などから守るために、「地域の子供を守ろう」防犯パトロール隊を結成し、若手社員を中心に自転車で通学路や不審者情報多発エリアを集中的に巡回しています。子どもたちの元気な声や姿と



宮城県民共済では、助け合いの心を通じて安心できる保障を届け、地域交流や社会貢献に努めることでSDGsへの取り組みを行っています。誰一人取り残さない社会づくりを目指し、より良い共済、組合員サービスの展開と一人ひとりに合った保障を提案。共済を通じて組合員と家族の安心を提供しています。

私が所属する部署は、窓口に来たお客さまへの来客対応や電話対応などを行っています。私たちの生活を脅かすリスク(入院、死亡、火災、自然災害など)に対して不安を抱える人は多くいます。その不安を少しでも解消させるため、お客さまの立場になっ

て考え、思いやりを持って接し、対応

助け合いの心でつなぐSDGs

宮城県民共済生活協同組合 細川薫さん

お客さまの不安や疑問を取り除き、気持ちに寄り添うことは「安心」へとつながります。私はお客さまが相談しやすい雰囲気作りを心がけ、会話の中で相手を理解し、共感することを大切にしています。小さなことでも意識して行動することでSDGs達成の第一歩になると考えます。

みやぎSDGs Farmに参加したことにより、これまで私自身が大事にしてきた思いや行動がお客さまの生活の「安心」につながると気づくことができました。

今回の経験を生かし私にできることを今後も継続していきま

地域の安全・安心を守る

コスモ警備 佐藤裕樹さん

出会うたびに、私たちも自然と力が湧き、仕事の疲れなど吹き飛んでしまいます。

みやぎSDGsファームに参加して、多くの収穫と希望を持つことができました。まだまだ会社として、一社会人として取り組めることはたくさんあります。見守ってきた地域の子どもたちが成長し、今度は彼らが地域の安全を見守る日が来ることを願い、できることから少しずつSDGsに取り組みます。

弊社が掲げた「安全と安心」を提供し、地域で一番愛される警備会社となる」という経営理念のもと、子どもたちの笑顔輝く住みよいまちづくりに貢献します。

毎日のランチで健康と福祉を

スタイルスグループ 山内好之さん

みはそういった方法に比べると比較的に取り組みやすいものとなっています。提供中の健康茶の効能、疾病予防を張り出すことにより、それぞれが抱えている生活習慣の改善に役立てば利用数も多くなり社会貢献も大きくできる取り組みとなっています。

まだ多くの利用者様の習慣には遠いですが、私自身毎日飲んでおり、1年前の健康診断より断然良くなりました。この診断結果をどこかに貼りだせば利用する方も多くなるでしょう。

今後どういった試みができるかは分かりませんが、大きくなるとまずは一歩踏み出すことが大事なのだと思います。

